

# アド. バックギア組立説明書

Touring Family  
Dyna Glide Family



# 1. パーツリスト



ケース



ギア



テーパーリング



ベアリングロックナット



ベアリングハウジングガスケット



クラッチリリースカバーガスケット



ロックタイト  
638  
(はめ合い用)

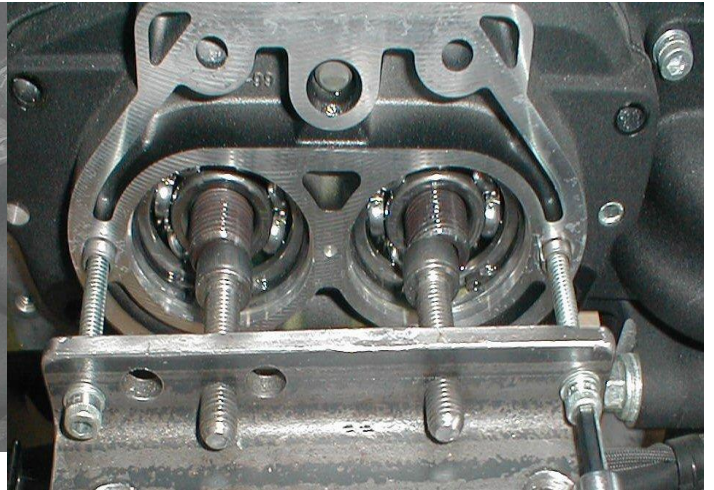
## 2. 準備

2-1 クラッチレバーの切れる位置を確認し、クラッチワイヤーアジャスターを完全に緩める。  
リアエキゾーストパイプを外す。

2-2 クラッチリリースカバーを外し、次にベアリングハウジングを外す。(ノックピンは差し込んだままにしておく。)

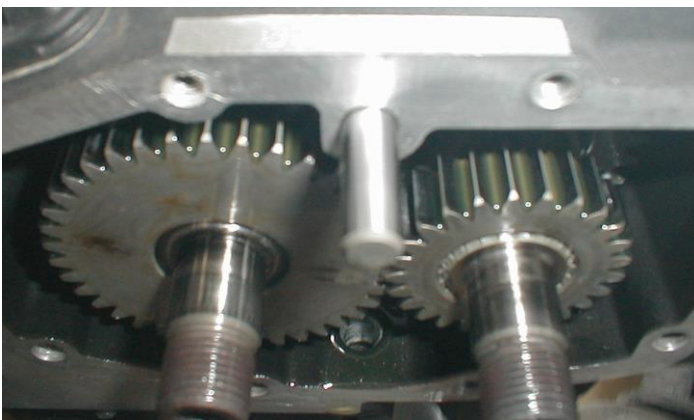


2-3 分解完了



2-4 シフターフォークシャフトをミッションケースの側面で切断する。

**(ミッションケースの中に切粉が入らないように、布等でカバーし作業して下さい)**



**(スペーサーは両方とも除く)**

**\* シャフトを押し込んだ状態で、ケース面より出していない事を確認して下さい。**

### 3. ギアの取付



←テーパリングの向きに注意して下さい。

図 1



↑ 2003年以前用は、図1の反対側に段が付いています。↑



2004年以降用の小ギアは、図1の反対側に段が付いていません。↑

- ・テーパリングの長さはそれぞれ違いますので、違うギアと組み合わせないように充分注意して下さい。
- ・ギアは車両の年式によって違いますから確認して下さい。
- ・取付面、ドライブギア、ドリブンギア、テーパリング、ロックナットは充分に脱脂して下さい。(シリコンオフ等)

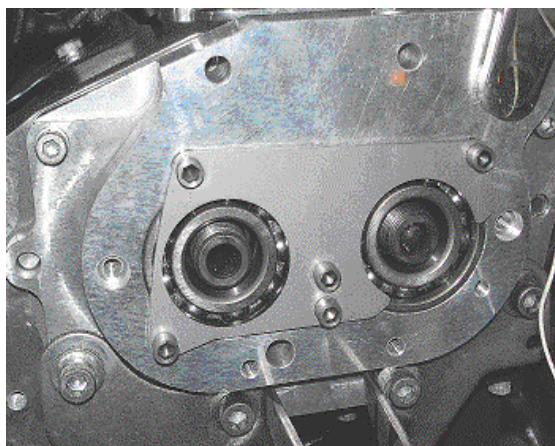
## A ドリブンギアの取り付け

- A-1 ドリブンギアを向きに注意してカウンターシャフトに入れ、テーパリングの両面に、付属のロックタイト（はめ合い用）を付け、丸い方を奥にしてドリブンギアに少し差し込む。（テーパリングの向きに充分注意して下さい）
- A-2 ドリブンギアを奥に押しながら、ベアリングハウジングを固定していたナットとカラーを使い、手でテーパリングを仮締めし、4速ギアとドリブンギアの間が0.1mm以下であることを確認する。
- A-3 インパクトレンチ等を使い、**締付トルク 300Nm**で締めてから、ナットとカラーを外す。（4連ドリブンギアは軸に固定されている。）

## B ドライブギアの取り付け

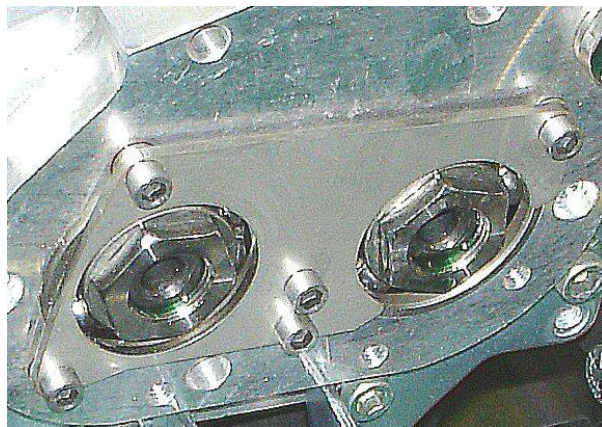
- B-1 ドライブギアを向きに注意してドライブシャフトに入れ、ギアとギアの間には0.1mmのシクネスゲージを挟み、テーパリングの両面に、付属のロックタイト（はめ合い用）を付け、向き（丸い方が奥）に注意してメインギアに少し差し込む。（テーパリングの向きに充分注意して下さい）
- B-2 メインシャフトを手前に引きながら、ドライブギアは奥に押しながら、ナットとカラーを使い、手で仮締めする。シクネスゲージを抜き、4速ギアとドライブギアとが接触していないかを確認する。
- B-3 更にインパクトレンチ等を使い、**締付トルク 300Nm**で締めてから、ナットとカラーを外す。（ドライブ側4連ギアは軸に固定されてはいけません）

## 4. ケースの取り付け



- 4-1 ガスケット（ベアリングハウジング）は両面にシーリング剤を塗布する。
- 4-2 バックレバーを**ニュートラルの位置**にして、ミッションケースのロックピンを合わせ、ケースを取り付け、そしてボルトを締める。（締付トルクは標準）

- 4-3 ベアリングロックナットの内側にロックタイト（ネジ部品用）を付け、手で少しねじ込んでからインパクトレンチ等を使い、**締付トルク 200Nm**で締める。



## 5. クラッチプッシュロッドエンドの加工

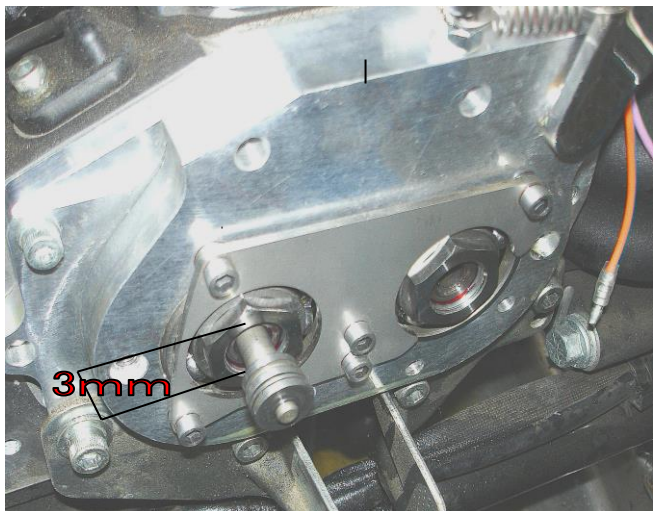
- 5-1 オイルスリンガーをプレスで外し、エンドを直径**16mm以下**になるように加工する。
- 5-2 スラストベアリングを再取り付けする。

16mm



## 6. クラッチリリースカバーの取付

- 6-1 クラッチのプッシュロッドエンドを入れ、奥まで差し込む。
- 6-2 クラッチを切った時にプッシュロッドエンドがベアリングロックナットに当たらないようにする為、プッシュロッドエンドとロックナットの隙間を**3mm**程度になるように、左側のエンドで仮に調節しておく。
- 6-3 ガスケットライトサイドカバーは、両面にシール剤を塗布し、クラッチリリースカバーを取り付ける。(締付トルクは標準)



## 7. クラッチの調整

- 7-1 アジャスターを十分に緩めてエンドをねじ込み、重くなったところから 1/2 回転戻し、ロックナットを締める。
- 7-2 クラッチレバーの遊びをアジャスターで調節し、クラッチの切れる位置に合わせてクラッチカバーを閉める。

(7-1) の調節が不適切な場合「クラッチが重い」「クラッチが切れない」等の症状が生じます。この場合、メインシャフト側のベアリングロックナットにクラッチプッシュロッドのスラストベアリングが当たっていることがあり、これは重大な故障を引き起こす可能性があるので十分に注意して下さい。

## 8. 「アド. バックギア」の操作方法

### 8-1 ギアをバックに入れる

- A アイドリング状態でバイクが完全に停止している時に操作する。
- B 前進ギアがニュートラルの状態クラッチを切り、安全装置であるセーフティレバーを後ろに回してロックを解除する。それから、バックレバーを後ろに引く。
- C 前進と同じように、アクセルをゆっくり開けながらクラッチをつなぐとバイクは後退を始める。

### 8-2 ギアを抜く

クラッチを切りバックレバーを前に押してから、安全装置であるセーフティレバーを前に回しロックを掛けておく。

※後輪を浮かせた状態での操作時に出る「カタカタ」という音は、ギアが噛んだり抜けたりする時に  
出ているもので、正常です。

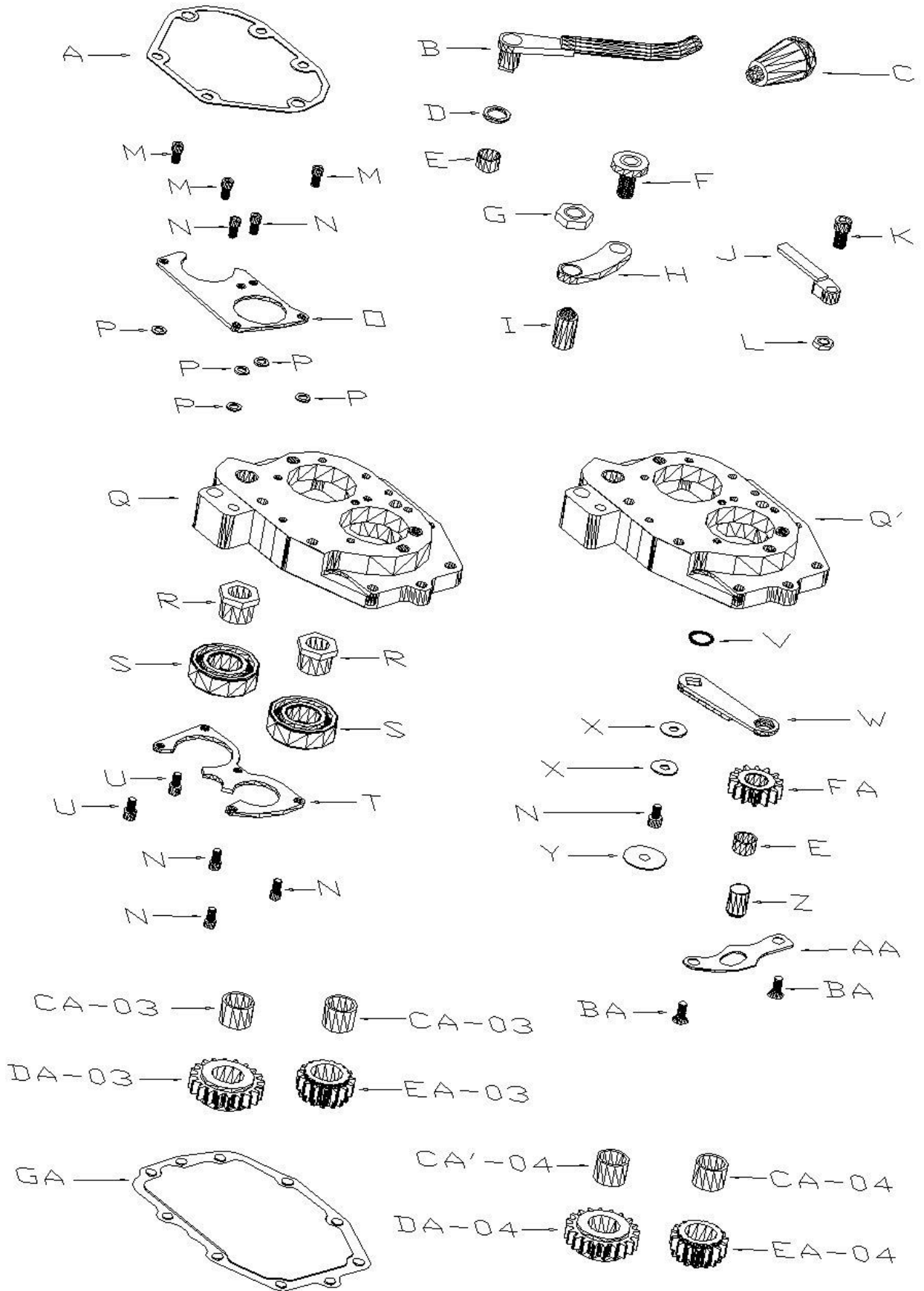
## 9. お願いと参考 **エンドユーザー様へ説明をお願いします**

- 取り付け後の初めての運転では、走行前にエンジンをスタートしてアイドルリングを安定させたり、クラッチを切った状態でローギアに2, 3回入れたり抜いたりして下さい。(クラッチの切れを良くする)
- バックレバーが抜けにくい時は、少し後退させてから再度行くと抜けやすくなります。
- ミッションオイルは、初め 800cc 入れ 100km 程走行した後に規定値まで抜いて下さい。この時、ミッションオイルにゴミや切粉などの異物が入っていないか確認して下さい。
- 後付の後退装置ですので、必要以上の操作力を加えると破損や動作不良等が起こる可能性があります。
- 調節をしながら組み立ててありますので、取り付けをお願いした取扱店様以外では分解したり調節したりしないで下さい。
- アイドリング回転になってからバック操作をして下さい。
- バックレバーの近くにはエキパイ等加熱したパーツがありますので、火傷をしないようにライディンググローブ等を着用の上操作をして下さい。
- バックしている状態でクラッチを切った時・エンジンの回転よりも後輪の回転の方が速くなった時は、過負荷を防ぐためアイドルギアが一時的にはずれカタカタと音が出ますが、これは正常な状態です。この状態からクラッチを入れる又は、後輪の回転が下がれば音は止まります。
- この『アド. バックギア』は、前進ギアが入っている状態でもバックギアを入れられますし、バックギアが入っている時でも前進ギアを入れる事が出来てしまいます。即ち、前進ギアとバックギアとの「二重噛み合い防止装置」が付いていません。この二重噛み合い状態になる操作をし、エンジンの回転を上げてクラッチをつなぐと、バックギアに付いているアイドルギアが破損し被害を最小限にするようになっていきます。**二重噛み合い状態になる操作を決してしないよう十分に注意して下さい。**

## 10. 保証について

弊社製部品の材質・製造工程上の不具合に起因すると考えられる不良に限り、1年間は代替え部品のみの供給をもって対応させていただきます。

# パーツリスト






## 『アド. バックギア』 パーツリスト

見出番号	部品名	使用個数
A	ガスケット 小	1
B	レバー	1
C	グリップ	1
D	ワッシャー	1
E	ブッシュ	2
F	ボルト M12*20	1
G	ナット M16	1
H	バック側ストッパーアーム	1
I	ボールプランジャー	1
J	ロックカム	1
K	ボタンボルト	1
L	ナット M8	1
M	ボルト φ8-M6*10	3
N	ボルト M6*10	6
O	ベアリング押さえ	1
P	小径ばね座金	5
Q	ケース本体 (黒塗装)	1
Q'	ケース本体 (削り出し)	1
R	ベアリングロックナット	2
S	ベアリング	2
T	ベアリング押さえカム	1
U	ボルト φ9-M6*10	2
V	Oリング	1
W	アーム	1
X	平ワッシャー	2
Y	オイルカバー	1
Z	アイドルギアシャフト	1
AA	カム	1
BA	皿ねじ	2
CA-03	~2003 テーパーリング	2
CA-04	2004~テーパーリング(ドライブ用)	1
CA'-04	2004~テーパーリング(ドライブ用)	1
DA-03	~2003 ドリブンギア	1
DA-04	2004~ドリブンギア	1
EA-03	~2003 ドライブギア	1
EA-04	2004~ドライブギア	1
FA	アイドルギア	1
GA	ガスケット 大	1

※削り出しタイプのみ

※削り出しタイプのみ

※削り出しタイプのみ

 株式会社サクマエンジニアリング

〒303-0044 茨城県常総市菅生町 2039

TEL0297-27-0817 Fax0297-27-0861

2006-01-01